

第3章 事業内容

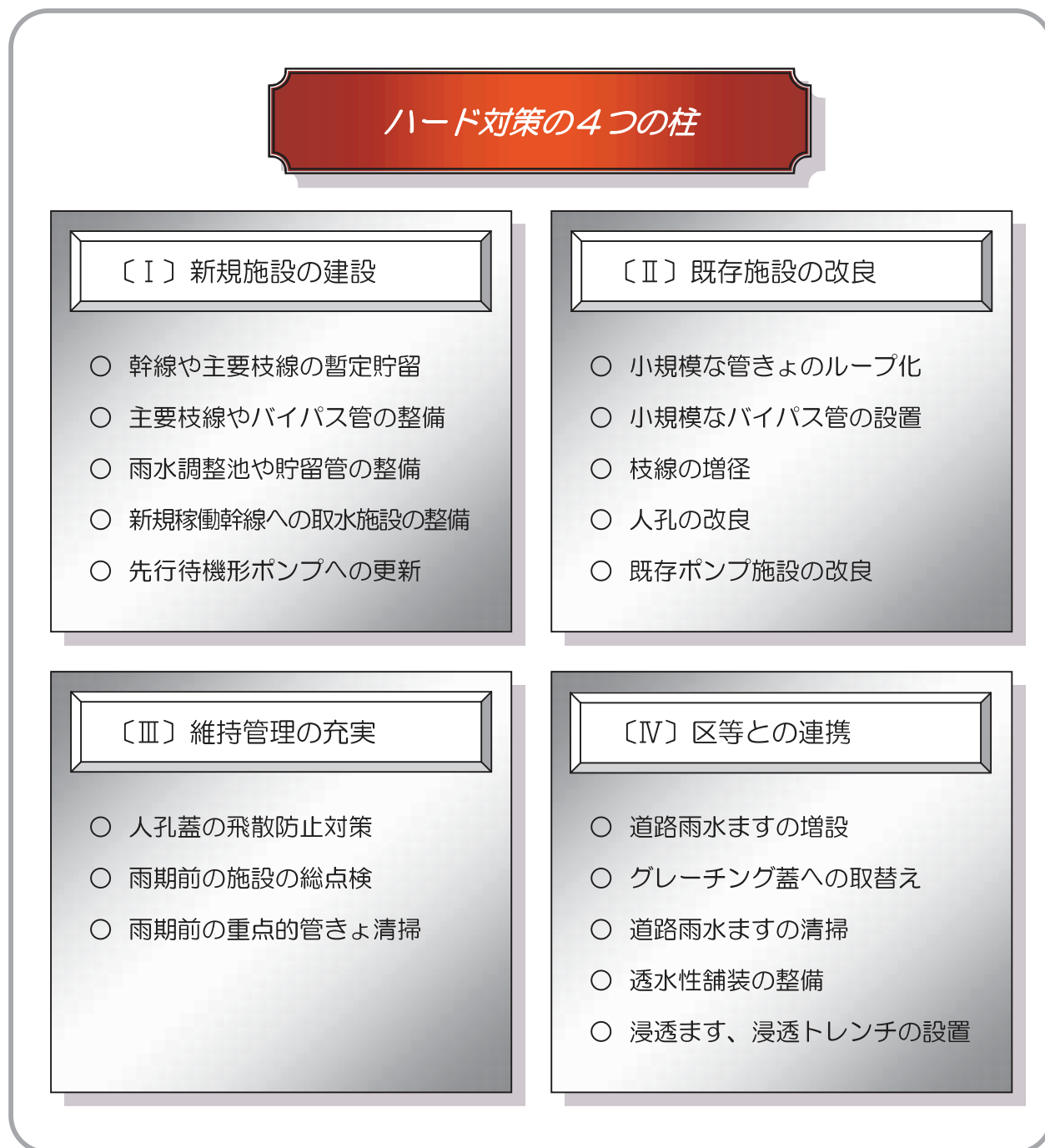
第3章 事業内容

1 ハード対策（施設整備による対策）

新クイックプランは、これまでの整備方針や後期5カ年の事業内容を引き継ぐとともに、繰り返し浸水被害を受けている地区を新たに追加した。

対策は、「新規施設の建設」、「既存施設の改良」、「維持管理の充実」、「区等との連携」の4つの柱（図3-1参照）とし、以下に示す具体的な取組を実施していく。

図3-1 ハード対策の4つの柱



(1) 対策内容の概要

「新規施設の建設」、「既存施設の改良」、「維持管理の充実」、「区等との連携」について具体的な整備手法を以下に示す。

対策	整備手法	内 容
〔Ⅰ〕 新規施設の建設	幹線や主要枝線の 暫定貯留	<ul style="list-style-type: none"> ・全線が整備されるまでに長い年月を必要とする幹線の一部区間、または、主要枝線を先行整備し、暫定的に貯留管として利用
	主要枝線や バイパス管の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・主要枝線の能力が不足している区間に、新たに管きよを布設もしくは布設替えを行うことで流下能力を増強
	雨水調整池や 貯留管の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーク時の雨水の一部を貯留する調整池や管きよを整備し、雨水流出量を抑制
	新規稼働幹線への 取水施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・新規に稼働した幹線の能力を効率よく活用するため、取水人孔や管きよを整備
	先行待機形ポンプ への更新	<ul style="list-style-type: none"> ・1時間50mm未満の降雨でポンプを全台運転し、かろうじて雨水を排水しているポンプ所において、ポンプの更新や能力増強の計画と整合を図った上で、既存のポンプを先行待機形ポンプに取替え（p.35 参照）

<対策内容の例> 幹線の先行整備（暫定貯留に利用）

（幹線工事作業基地）



（建設中の幹線）



対策	整備手法	内 容
〔Ⅱ〕既存施設の改良	小規模な管きよのループ化	<ul style="list-style-type: none"> ・効率的に雨水を流下させるため、別系統の人孔間を結ぶ管きよを布設して管きよ網をループ化
	小規模なバイパス管の設置	<ul style="list-style-type: none"> ・管きよの流下能力が不足している区間にバイパス管を布設
	枝線の増径	<ul style="list-style-type: none"> ・管きよの流下能力が不足している区間の枝線を、より大きな管きよに布設替え
	人孔の改良	<ul style="list-style-type: none"> ・降雨時に大量の雨水が集中する管きよ会合点の人孔において、雨水をスムーズに流下できる構造に改良
	既存ポンプ施設の改良	<ul style="list-style-type: none"> ・集中豪雨に対応し、迅速な運転操作を行うため、止水弁の開閉時間が短くなるように弁を改良 ・古い基準の河川計画で整備されたポンプ所において、現行の基準（高潮水位）に対応するようポンプ施設を改良

＜対策内容の例＞ 枝線の増径

（掘削状況）



（管きよの布設替え状況）



対策	整備手法	内 容
〔Ⅲ〕維持管理の充実	人孔蓋の飛散防止対策	<ul style="list-style-type: none"> ・集中豪雨時に飛散する恐れのある人孔蓋を、飛散防止型の人孔蓋に取替え
	雨期前の施設の総点検	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的な点検に加え、本格的な雨期前までに、管きよやポンプ所、水再生センターの総点検を実施
	雨期前の重点的管きよ清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・管きよ内に堆積している土砂等を取り除き、管きよの流下能力を確保 ・過去に浸水被害が発生している地区では、定期的な管きよ清掃に加え、雨期前に重点的な清掃を実施

＜対策内容の例＞ 雨期前の施設の総点検

（管きよの点検作業）



（ポンプ所の点検作業）



＜対策内容の例＞ 雨期前の重点的管きよ清掃

（管きよの清掃作業）



（飛散防止型人孔蓋の清掃作業）



対策	整備手法	内 容
〔Ⅳ〕区等との連携	道路雨水ますの増設	<ul style="list-style-type: none"> 道路雨水ますの増設により、路面からの雨水を速やかに管きょへ収容
	グレーチング蓋への取替え	<ul style="list-style-type: none"> 道路雨水ますの蓋を、開口面積が大きく雨水が流入しやすいグレーチング蓋に取替え
	道路雨水ますの清掃	<ul style="list-style-type: none"> 土砂等が堆積している道路雨水ますの清掃を行い、スムーズな雨水の流れを確保
	透水性舗装の整備	<ul style="list-style-type: none"> 道路舗装を透水性舗装とし、路面から地下に雨水を浸透させることで、下水道への雨水の流入量を低減
	浸透ます、浸透トレンチの設置	<ul style="list-style-type: none"> 助成制度を有する区と連携し、宅地内への浸透ます、浸透トレンチの設置を促進し、下水道への雨水の流入量を低減

＜対策内容の例＞ グレーチング蓋への取替え

（施工前）



（施工後）



図3-2 対策イメージ図

